

科目名	科学技術文章	英文表記	Science and Technology Expression			平成22年3月 5日作成
教員名：網谷 厚子						
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科	5年	必修	履修	1単位	講義	半期
目 標	1 科学技術文章のルールについての理解を深め活用できるようになる。 2 科学技術的「論文」の具体的な構成・記述手順等の基本形式について習熟する。 3 図・表の表現法・活用法について基礎的知識を身につける。					
高 専 目 標	機械：1.2.3.4 情報：1.2.3.4 メディア：1.2.3.4 生物：1.2.3.4	JABEE プログラム名称		全プログラム		
		JABEE プログラム教育目標		機：(A-1)(A-3)(B-3)(B-4)(C-3)(C-5) 情報：(A-3)(B-1)(B-2)(B-3)(C-1)(C-2)(C-3) メディア：(C-4) 生物：(C-2)		
授業概要、 方針、 履修上の注意	1 科学技術的「論文」の基本的形式を学ばせ、自ら書かせることを通し、方法についての運用能力を高めさせる。 2 図・表の名称・スタイル・表現法について学び、活用能力を高めさせる。 3 自ら考え表現することについて独創的にできるように多くの課題を設定する。					
評 価 方 法	1 数回のレポート・小論文の提出率・内容、プレゼンテーションの評価(50%) 2 中間考査の得点(50%) ただし留学生については各配分にとらわれず1・2を総合して100%とする。					
教科書・教材	『知的な科学・技術文章の書き方』(中島利勝・塚本真也共著、コロナ社刊)『知的な科学・技術文章の徹底演習』(塚本真也著、コロナ社刊)、教員自主編成教材					
参考図書	『理科系の作文技術』(木下是雄著、中公新書)・『考える技術・書く技術』(バーバラ・ミント著・山崎康司訳、ダイヤモンド社)・『うまい!と言われる科学論文の書き方』(Bjorn Gustavii 著・島山雄二訳、丸善株式会社)					

授 業 計 画

授 業 項 目	時間	授 業 内 容
1. 科学技術論文を書くための留意点	2	論文を書くことについての基本知識を身につかせる。
2. 実験レポートと卒業論文の体裁	2	各種レポート・論文の体裁について理解させる。
3. 科学技術「論文」の構成	2	論文の基本的構成・執筆手順について学ばせる。
4. 実験方法等の表現法	2	説得力ある実験方法の実際について認識を深めさせる。
5. 実験結果・考察・検討等の書き方	2	論文の各種構成要素について理解させる。
6. 緒論と結論の書き方	2	効果的な緒論・結論の表現について磨かせる。
7. 論文題目・参考文献等の留意点	2	論文題目の立て方・参考文献の示し方に習熟する。
8. プレゼンテーションの技術	2	基本的なプレゼンテーション技術に習熟させる。
9. 中間考査	1	基本的・応用的知識の理解度を測定する。
10. プレゼンテーション作品の創作	2	課題に基づきPPTを作成し効果的表現を習得させる。
11. プレゼンテーションの実際	2	自己のPPTに基づきプレゼンテーションさせ、相互評価させることにより、技法を身につけさせる。
12. 作図・作表のルール①	2	作図・作表の諸相・様々な方法について学ばせる。
13. 作図・作表のルール②	2	同上
14. 科学技術「論文」の作成	2	主題・構成を独自に工夫させ、独創性を発揮させる。
15. 科学技術「論文」の推敲	2	コンクールに応募する長文論文を完成させる。
16. 科学技術文章の授業内容の確認	1	授業内容を確認させ、知識・技能の定着を図る。
学習時間合計	30	実時間 25

学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など)